

1961



石橋美術館

館報

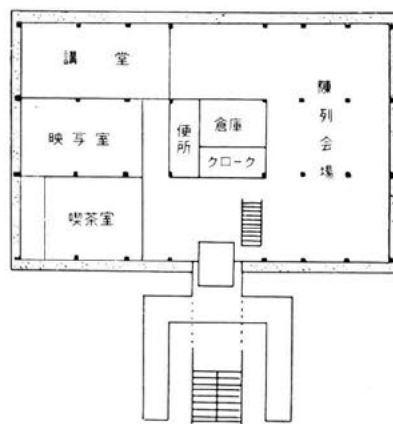
No. 5

目 次

1. 設 立 趣 旨.....	1
2. 位 置・設 備.....	1
3. 機 構・運 営.....	1
4. 開館時と入館料.....	2
5. 1960年度入場者一覧.....	2
6. 1960年度開催展覧会一覧.....	3
7. 1960年度平常陳列一覧.....	3
8. 1960年度平常陳列目録.....	3
9. 日本水墨画名作展.....	7
10. 石橋コレクション東洋美術品特別展観	9
11. 近代名家青年時代作品展.....	10
12. 平賀亀祐ヨーロッパ近作展.....	11
13. 第4回西日本洋画新人秀作展.....	12
14. 特別陳列 青木繁.....	14
15. 主 来 館 者.....	14
16. 1960年度各種活動について.....	14
17. 講演会・座談会・その他.....	15
18. 上 映 映 画.....	15
19. 階下ギャラリー展覧会.....	15
20. レコード・コンサート.....	16



(階 上)



(階 下)

設 立 趣 旨

石橋美術館は、石橋正二郎氏が、昭和31年4月26日、ブリヂストンタイヤ株式会社創立25周年を記念して、社会公共の福祉と文化向上のために、郷土である久留米市に寄贈された石橋文化センターの中心施設として開設されたものである。

位 置・設 備

- 名 称——本美術館は「石橋美術館」と称し、英文では「ISHIBASHI ART GALLERY」と記す。これは設立者石橋正二郎氏を記念したものである。
- 位 置——福岡県久留米市野中町 石橋文化センター内。
- 面 積——1587平方米。鉄筋コンクリート二階建。
- 部 屋 割——**階上** 第一陳列室 第二陳列室 第三陳列室 中央ホール 事務室 主事室 倉庫 洗面室
階下 オープンギャラリー 講堂 映写室 喫茶室 荷物預所 便所 倉庫
- 照 明——蛍光灯 白熱灯 併用
- 換 気——送風機による強制換気及び除湿機を併用しての湿度調整

機 構・運 営

本美術館は、久留米文化振興会がこれを経営し、その運営は運営委員会に委ねられている。機構は次表の通り。

久留米文化振興会

会 長	杉 本 勝 次						
副 会 長	石 橋 幸 八	本 村 恒次郎	龍 頭 文吉郎				
常務理事	青 木 重 憲						
理 事	板 垣 政 参	安 田 理 雄	牛 島 慶 二	倉 富 正 月	高 木 巖		
	岡 部 平 太	秋 山 国之助	井 上 儀一郎	近 藤 徳之助			
監 事	浅 田 昇	斎 田 勇					

石 橋 美 術 館

顧 問	細 川 護 立	坂 本 繁二郎	杉 本 勝 次
参 与	豊 田 勝 秋	海老原 喜之助	

運 営 委 員 会

委 員 長	石 橋 幹一郎						
委 員	団 伊 能	富 永 惣 一	谷 信 一	今 泉 篤 男	嘉 門 安 雄		
	河 北 倫 明	谷 口 鉄 雄	伊 原 宇三郎	猪 熊 弦一郎	岩 佐 新		
	岸 田 勉						
主 事	田 中 幸 夫	(学芸員)	山 上 隆之輔				

開館時と入館料

開館時間 午前9時——午後5時30分 (4月1日——9月30日)

午前9時30分——午後5時 (10月1日——3月31日)

休 館 毎週月曜日

年末12月28日より 年始1月4日まで

別に陳列替のため臨時休館がある

入 館 料 (石橋文化センター入館料とも)

個 人			団 体 (30名以上)		
一 般	50円		一 般	40円	
大学・高校生	40円		大学・高校生	30円	
中学・小学生	30円		中学・小学生	20円	

保護者同伴に限り未就学児無料。尚、特別展の時には料金の変更を行うことがある。

1960年度 入場者一覧

月別	開館日数	個 人			団 体			フリー パス	計	一日平均
		一 般	大 学 高校生	中 学 小学生	一 般	大 学 高校生	中 学 小学生			
4	25	3,381	565	442	943	251	679	143	6,404	256
5	28	6,037	1,217	643	1,214	1,407	1,174	290	11,982	478
6	26	1,773	205	131	479	55	151	71	2,865	110
7	27	1,175	188	124	538	0	422	134	2,581	95
8	26	1,594	452	408	432	30	29	104	3,049	117
9	26	1,717	161	134	257	73	280	79	2,701	104
10	30	3,927	502	316	1,882	1,048	3,426	190	11,291	376
11	27	2,593	374	317	1,001	225	2,985	141	7,636	283
12	23	779	108	61	117	12	0	59	1,136	49
1	23	987	104	97	242	0	37	65	1,532	66
2	23	1,635	195	138	463	0	0	126	2,557	111
3	29	2,826	1,121	613	557	14	1,161	171	6,463	222
計	313	28,424	5,192	3,424	8,125	3,115	10,344	1,573	60,197	192

1960年度開催展覧会一覧

展 覧 会 名 称	期 間	日 数	入 場 者 数								計	一日平均
			個 人			団 体			フリース パス			
			一般	大 学 高校生	中 学 小学生	一般	大 学 高校生	中 学 小学生				
日本水墨画名作展	4月25日— 5月24日	30	6,727	1,404	728	1,224	1,623	1,669	348	13,723	457	
近代名家 青年時代作品展	10月10日— 11月13日	35	4,733	663	470	1,832	1,177	4,164	260	13,299	380	
第 4 回 西日本洋画新人秀作展	2月4日— 2月26日	20	1,590	185	135	459	0	0	126	2495	124	

1960年度平常陳列一覧

期 間	日 数	入 場 者 数								計	一日平均
		個 人			団 体			フリース パス			
		一 般	大 学 生 大 高 校 生	中 学 生 小 学 生	一 般	大 学 生 大 高 校 生	中 学 生 小 学 生				
3月22日—4月22日	28	3,117	568	535	915	132	231	117	5,615	201	
5月27日—10月9日	117	7,558	1,148	898	2,333	197	1,834	452	14,420	123	
11月15日—2月2日 (平賀亀祐特陳)	62	2,721	337	260	889	69	1,332	137	5,745	92	
計	207	13,396	2,053	1,693	4,137	398	3,397	706	25,780	416	

1960年度 平 常 陳 列 目 録

〔日 本 作 品〕

1	中 丸 精 十 郎	滝	(107.5×70.5) cm	1890年作
2	百 武 兼 行	臥 裸 婦	(97 ×187)	1881年頃
3	浅 井 忠	縫 物	(61 × 46)	1902年作
4	黒 田 清 輝	針 仕 事	(80 × 65)	1890年作
5	藤 島 武 二	天 平 の 面 影	(198.5× 94)	1902年作
6	〃	ヴェルサイユ風景	(73 × 91)	1906～7年作
7	〃	ネ ミ 湖	(26.5× 35)	1908年作
8	〃	池	(31 × 26)	1908～9年作
9	〃	ヴィラ・デステの池	(24 × 33)	〃
10	〃	唐 様 三 部 作	(79 ×138.5)	1912年作

11	藤	島	武	二	五剣山の日の出	(53 × 73.5)	1932年作
12		"			五剣山の日の出	(37.5 × 4.5)	"
13		"			奈良風景	(54 × 46)	1934年作
14		"			蒙古の日の出	(42 × 55)	1937年作
15	岡	田	三	郎助	臥裸の少女	(45 × 91.5)	1900年作
16		"			髪梳く女	(119 × 79)	1901年作
17		"			東北田舎小景	(60 × 46)	1915年作
18	白	滝	幾	之助	坐婦	(38.5 × 45)	
19	満	谷	国	四郎	ブルターニュ風景	(65 × 54.5)	1913年作
20		"			裸婦	(46 × 55.5)	1913年作
21		"			裸婦	(53 × 45.5)	1925年作
22		"			裸婦	(72 × 60)	1925年作
23		"			「思い出」下図	(64 × 31)	1926年作
24	中	沢	弘	光	ピルギ	(69 × 35)	1909年作
25		"			ベナルギ	(24 × 31)	1921年作
26		"			バナボ	(24 × 31)	"
27		"			コロンボ	(25 × 34)	"
28		"			ヴエニス	(25 × 34)	"
29		"			"	(37 × 28)	1922年作
30		"			ロ	(24 × 19)	1921年作
31		"			ミ	(24 × 19)	"
32		"			ラ	(24 × 19)	"
33	和	田	英	作	読書	(73 × 53.5)	1902年作
34		"			チュールップ	(80 × 65)	1927年作
35		"			早春(富士)	(53 × 65)	1939年作
36	石	川	寅	治博	農事多忙	(91 × 11.7)	1947年作
37	吉	田			ウダイプールの宮殿	(33 × 45)	1931年作
38		"			奔流	(97 × 130)	1936年作
39		"			風景	(33 × 45)	
40	小	杉	放	庵	山幸彦	(192 × 291)	1917年作
41	山	下	新	太郎	バ	(46 × 38)	
42	青	木	繁		秋の夜(鉛筆淡彩)	(14.5 × 16)	1902年作
43		"			自画像	(81 × 60.5)	1903年作
44		"			開威弥尼	(15 × 10.2)	"
45		"			輪転	(27.3 × 37.6)	"
46		"			海	(10.3 × 15)	1904年作
47		"			丘に立つ三人(水彩)	(16 × 14)	"
48		"			農家立	(31 × 29)	"
49		"			木	(33 × 24)	"
50		"			春(水彩)	(16.3 × 32.3)	"
51		"			風景(扇面)	(扇面)	"
52		"			女の顔(羽子板)	(羽子板)	"
53		"			水浴	(14 × 25)	1904~5年作
54		"			海景	(35 × 71)	"
55		"			光明皇后	(38 × 72.5)	1905年作
56		"			雪景	(32.5 × 23)	1906年作
57		"			わだつみのいるこの宮	(181.5 × 70)	1907年作
58		"			月下滞船図	(41.5 × 57)	1908年作
59		"			春	(4.45 円 型)	"
60		"			夏	(")	"
61	坂	本	繁	二郎	荒海	(24 × 33)	1915年作
62		"			自画像	(45.5 × 37.5)	1929年作
63		"			放牧三馬	(79.5 × 99)	1932年作
64		"			三勇士	(52 × 81)	
65		"			親子	(15 × 21)	
66	石	井	柏	亭	傘松(ナポリ)	(50 × 60)	1923年作

67	金	山	平	三	菊	(55 × 72)	
68		"			石 母 田 の 堤	(40 × 53)	
69		"			田 沢 の 春	(45 × 45)	
70	和	田	三	造	海	(106 × 197)	
71		"			教会の見える風景	(31 × 41)	
72	辻			永	春	(53 × 72.5)	
73		"			フォントネ・オ・ローズの春	(27 × 36.5)	1921年作
74	斎	藤	与	里	秋 イ ン キ 壺 の 静 風 物	(20.5 × 26.5)	
75	藤	田	嗣	治	婦 人 像 (鉛筆)	(22 × 27)	1929年作
76		"			婦 人 形 抱 く 子 供 婦 像 (鉛筆)	(34.5 × 46.5)	1927年作
77		"			裸 女 と の 猫 像	(42 × 51)	1948年作
78		"			裸 女 と の 猫 像	(34.5 × 46.5)	1949年作
79		"			裸 女 と の 猫 像	(40 × 50)	
80	青	山	熊	治	男 と の 猫 像	(40 × 50)	
81	小	出	檜	重	裸 婦 (素描)	(91 × 61.5)	
82		"			裸 婦 (素描)	(70 × 46.5)	1925年作
83	安	井	會	太 郎	水 浴 京 風 景 (鉛筆水彩)	(50 × 35)	1926年作
84		"			北 京 風 景 (鉛筆水彩)	(128 × 193)	1914年作
85		"			人 室 (木版)	(27 × 19)	1944年作
86		"			和 装 婦 人	(31 × 51.5)	
87		"			和 装 婦 人	(40 × 28)	
88		"			洋 装 婦 人	(40 × 28)	
89		"			静 物	(28 × 40)	
90		"			蓄 音 器	(40 × 28)	
91		"			外 房 風 景	(28 × 40)	
92		"			秋 奈 良 に 静 て	(28 × 40)	
93		"			ば 魚 貝 静 物	(28 × 40)	
94		"			魚 貝 静 物	(28 × 40)	
95		"			魚 貝 静 物	(28 × 40)	
96	梅	原	竜	三 郎	り ん ご と 梨 園 書 画	(80 × 65)	1922年作
97	遠	山	五	郎	婦 人 読 書 園 書 画	(45.5 × 37.5)	1924年作
98	片	多	徳	郎	芙 ス キ ー ス	(33 × 23)	
99	坂	田	一	男	エ 動 物 園 風 景	(45 × 53)	
100	谷	川	利	行	動 物 園 風 景	(80 × 65.5)	
101	長	須	国	太 三 郎	栲 原 風 景	(50 × 100)	
102	兄	島	善	郎	ト レ ド 風 景	(52 × 45.5)	
103	青	山	義	雄	南 仏 アルプス 遠 望	(52 × 45)	
104	林		俊	衛	フ ラ ン ス 風 景	(32 × 41)	
105		"			サント・ヴィクトワール山	(91 × 116.8)	
106	古	賀	春	江	誕 海 水 浴 の 女 達	(91 × 116.8)	1923年作
107		"			海 水 浴 の 女 達	(116.8 × 91)	"
108		"			鳥 素 朴 な 月 籠 夜	(111 × 145.5)	1929年作
109		"			鳥 素 朴 な 月 籠 夜	(116.8 × 91)	"
110		"			鳥 素 朴 な 月 籠 夜	(116.8 × 91)	1930年作
111		"			鳥 素 朴 な 月 籠 夜	(116.8 × 91)	1931年作
112		"			鳥 素 朴 な 月 籠 夜	(116.8 × 91)	
113		"			鳥 素 朴 な 月 籠 夜	(111 × 145.5)	1931年作
114		"			鳥 素 朴 な 月 籠 夜	(60 × 73.5)	1927年作
115	佐	伯	祐	三	ガ ラ 告 貼 り 景 場	(74 × 61)	"
116		"			風 角 の 酒 場	(36 × 51)	
117	中	西	利	雄	須 熊 弦 一 郎	(60 × 72.5)	
118	荻	熊			山 と 犬 と 猫 品	(66 × 81.5)	
119	猪				山 と 犬 と 猫 品	(46 × 63)	
120		"			山 と 犬 と 猫 品	(44 × 60)	
121		"			山 と 犬 と 猫 品	(55 × 37.5)	
122		"			山 と 犬 と 猫 品	(55 × 37.5)	

123	山	口	長	男	累	形	(91 × 91)	1958年作
124	荒	井	竜	男	魔	園	(39 × 49)	
125	棟	方	志	功	工 楽 両 妃 の 柵 (木版)		(65 × 49)	1960年作
126	三	岸	節	子	カーニユ・シュールメール		(55 × 46)	
127	脇	田		和	女 と か け す		(50 × 61)	1958年作

〔彫 刻 作 品〕

1	戸	張	孤	雁	裸		婦	ブロンズ	24cm	
2	藤	川	勇	造	臥	裸	婦	ブロンズ	19cm	1930年作
3	山	本	豊	市	若	い	女	乾 漆	165cm	

〔模 写 作 品〕

1	ボ	ム	ペ	イ	壁 画			藤	島	武	二	模 写
2					〃				〃			〃
3	キ	リ	ス	ト	の 洗 礼 壁 画 部 分	フ	ラ	ン	チ	ェ	ス	カ
4	聖		家		族	テ	ィ	ツ	ィ	ア	ー	ノ
5	カ	ス	テ	ル	・ ガ ン ド ル フ の 思 い 出	コ		ロ				ー
6	ム	ー	ラ	ン	・ ド ・ ラ ・ ギ ャ レ ッ ト	ル	ノ	ア		ー	ル	
7	水	浴	後	の	休 息			〃				〃
								勝	間	田	武	男

〔外 国 作 品〕

1	ギ	ー	ス	酒		場	水	彩		
2	ミ	レ	ン	農		夫	素	描		
3	ワ	ー	ゲ	マ	鶉					
4	セ	ザ	ン	男	の	像	素	描		
5	ス	ミ	ス	婦	人	像				
6	ル	ド	ン	裸		婦	素	描		
7	シ	ニ	ヤ	ラ	・ ロ シ ャ ル	風 景	水	彩		
8	マ	テ	ィ	リ	ュ	リ	素	描		1930年作
9	モ	ー	リ	バ	ッ	カ				1920年作
10	ヴ	ラ	マ	風		景	水	彩		
11	ロ	ー	ラ	手	鏡 を 持 つ	女				
12	ア	ー	ノ	静		物				1950年作
13	ア	ン	リ	風		景				1951年作
14	ア	レ	シ	田	園 の 一	隅				1951年作
15				木	の	根				1954年作
16	ト	ー	マ	夜	の	映				1957年作
17	ヴ	ァ	ン	化	粧 す る	女				

〔創作版画シリーズ〕 平常陳列に併行して第3室に陳列

6月4日ー7月9日	ジャン・リュルサ、彩色リトグラフ16点を陳列。
7月10日ー8月9日	ル・コルビュジェ1947年ー1953年作、彩色リト・グラフ画集「直角の詩」より19点を陳列。
8月10日ー9月9日	藤田嗣治1951年出版、彩色エッチング、画集「魅せられた河」より15点を陳列。
9月10日ー10月9日	ピカソ、アンティープのデッサン（複製）1946年アンティープに於て描かれ、1958年出版のデッサン16点を陳列。

日本水墨画名作展

(4月25日—5月24日)

西日本新聞社、当館主催。会場 1、2、3 室

各地の美術館や所蔵家の方々の並々な御協力により開催され、国宝、重文を含む130点の名作を展示して日本中世の水墨画展として前例のない規模のものとなった。

各地の愛好者の間に非常な反響を呼び、会期中13,000人を越す入館者があった。

重文	1	平沙落雁図	思 堪 筆	一山一寧 讃	1	13世紀後期	里 見 忠三郎氏 蔵
"	2	五 祖 像		清拙正澄 讃	1	1339年以前	正 木 孝 之氏 蔵
"	3	文 殊 像		虎関師錬 讃	1	1346 "	"
	4	布袋図	伝・黒庵霊淵筆	平石如砥 讃	1	14世紀前期	安 田 毅 彦氏 蔵
	5	天神像		祖 参 讃	1	1360年	常盤山文庫 蔵
	6	竹雀図	愚溪右慧筆	天庵懷義 讃	1	14世紀中期	大 慈 寺 蔵
	7	朝陽対月図	可翁仁賀筆		2	"	栗 須 礼 夫氏 蔵
	8	梅雀図	"		1	"	梅 沢 彦太郎氏 蔵
	9	蘭石図	玉腕梵芳筆		1	15世紀前期	藤 井 徳 義氏 蔵
	10	蘭 図	"		1	"	安 田 毅 彦氏 蔵
国宝	11	観音墨梅図	月林一之筆		3	"	藤 井 徳 義氏 蔵
重文	12	瓢 鮎 図	大巧如拙筆	玉腕梵芳等讃	1	"	藤 井 徳 義氏 蔵
重文	13	王羲之書扇図	"	惟肖得巖等讃	1	1430年	津 田 佳代子氏 蔵
	14	雪裏三友図	伝・天章周文筆	玉腕梵芳等讃	1	15世紀中期	藤 井 徳 義氏 蔵
	15	孤舟水遠図	"	巖中周嘯等讃	1	1427年	"
	16	古寺春雲図	"	竹庵大縁等讃	1	1431年	"
	17	虎溪三笑図	"	天隠龍沢等讃	1	15世紀中期	浅 野 長 武氏 蔵
	18	山水図		惟肖得巖 讃	1	15世紀前期	慈 照 院 蔵
	19	観音音図	秀峰(真能)筆		1	15世紀中期	常盤山文庫 蔵
	20	三保松原図	伝・真能筆		6	"	穎 川 徳 助氏 蔵
	21	観音音図	赤 脚 子 筆		1	"	"
	22	牧牛図	"		1	"	中 村 岳 陸氏 蔵
	23	山水図		心田清播 讃	1	"	"
	24	林和靖図		天章澄或 讃	1	"	"
	25	寒山拾得図			1	"	萩 原 安太郎氏 蔵
国宝	26	湖山小景図	天 遊 筆	翺之慧鳳 讃	1	"	石 井 柳 助氏 蔵
	27	山水図	岳翁蔵丘筆		1	"	東京国立博物館 蔵
	28	寒山拾得図	桃林安榮筆		2	"	細 見 亮 市氏 蔵
	29	四季山水図	伝・周文筆		1双	"	太 山 寺 蔵
	30	林和靖図			1隻	"	里 見 忠三郎氏 蔵
重美	31	楓橋夜泊図		雪心等柏 讃	1	15世紀中期	常盤山文庫 蔵
	32	布袋図	仲安真康筆		1	"	根 津 美術 館 蔵
	33	蘿 菊 図		春浦宗熙 讃	1	16世紀前期	浄 福 寺 蔵
重美	34	山水図		高先景照 讃	1	15世紀中期	根 津 美術 館 蔵
重文	35	山水図(旧襖)	伝・真相筆		2	16世紀前期	大 仙 院 蔵
	36	東山泉水図	"		1	15世紀後期	安 田 毅 彦氏 蔵
	37	李白観瀑図	真 相 筆		1	"	藤 井 徳 義氏 蔵
	38	渡唐天神像	賢江祥啓筆		1	"	竹 腰 健 造氏 蔵
	39	栗鼠図	宗 休 筆		1	"	東京国立博物館 蔵
重美	40	梅鶯図	単庵智伝筆		1	"	細 見 亮 市氏 蔵
重文	41	達磨像	牧 松 筆	景徐周麟 讃	1	"	慈 照 院 蔵
	42	山水図	"		1	"	梅 沢 彦太郎氏 蔵
重文	43	文 殊 像	啓 牧 筆		1	"	本 法 寺 蔵

重文	44	寒山拾得	図	啓孫筆	2	15世紀後期	本法寺	藏
	45	枯木鳥	図	啓宗筆	1	16世紀前期	細見亮市氏	藏
	46	蓮小禽	図	輝忠龍杏筆	1	"	額川徳助氏	藏
	47	瀟湘八景	図	雪溪永怡筆	1	"	常盤山文庫	藏
重美	48	山水	図		1	15世紀中期	根津美術館	藏
重文	49	四季山水	図	和玉楊月筆	1双	15世紀後期	梅沢彦太郎氏	藏
	50	神農	図	"	1	"	東京国立博物館	藏
	51	牧神	図	宗譽筆	1	16世紀前期	中村岳陵氏	藏
	52	臥龍梅	図		1	15世紀後期	大阪市立美術館	藏
重文	53	山水	図	紹仙筆	1	1523年	根津美術館	藏
	54	天神	像	土藏筆	1	15世紀後期	常盤山文庫	藏
	55	天神	像		1	"	"	
	56	天神	像		1	"	"	
	57	渡唐天	神像	得栖筆	1	16世紀前期	"	
	58	渡唐天	神像		1	"	"	
重文	59	黄初平	図	雪舟等楊筆	1	15世紀後期	川端康成氏	藏
"	60	牧童	図	"	1	"	浅野長武氏	藏
"	61	慧可	断臂	"	1	1496年	斎年寺	藏
国宝	62	山水	図	"	1	16世紀前期	大原総一郎氏	藏
重文	63	四季山水	図	伝・雪舟等楊筆	4	15世紀後期	石橋幹一郎氏	藏
"	64	東福寺伽藍	図	"	1	16世紀前期	東福寺	藏
	65	山水	図		1双	16世紀後期	石井柳助氏	藏
	66	竹林七賢	図	等禪筆	1	16世紀中期	荻原安之助氏	藏
	67	蘆雁	図	"	1	"	東京国立博物館	藏
	68	維摩	図	等春筆	1	"	梅沢彦太郎氏	藏
	69	はは鳥	図	雪村周継筆	1	1552年	常盤山文庫	藏
	70	山水	図	"	2	16世紀中期	京都国立博物館	藏
	71	竹雀	図	"	1	16世紀中期	藤井徳義氏	藏
	72	猿捉月	図	"	3	"	細見亮市氏	藏
	73	翡翠	図	"	1	"	"	
	74	山水	図	等閑興悦筆	1	"	東京国立博物館	藏
重文	75	竹石白鶴	図	伝・狩野正信筆	1双	15世紀後期	真珠庵	藏
	76	雪景山	水図	"	1	"	安田靱彦氏	藏
重文	77	花鳥	図(旧襖)	"	2	16世紀前期	大仙院	藏
"	78	楼閣山水	図	"	1	"	金地院	藏
	79	山水	図	山田道安筆	1	16世紀中期	額川徳助氏	藏
	80	山水	図	心叟(斯波義廉)筆	1	"	東京国立博物館	藏
	81	白鷹	図	土岐富景筆	1	"	藤井徳義氏	藏
	82	瀟湘八景	図	秀盛筆	8	"	細見亮市氏	藏
	83	山水	図	秀雪山筆	1	"	竹腰健造氏	藏
	84	寒山水	図	賢正筆	1	"	"	
	85	山水	図	龍登筆	1	"	斎藤弘吉氏	藏
	86	山水	図		1	16世紀後期	永源寺	藏
	87	山水	図		1双	16世紀中期	千野芳次郎氏	藏
	88	一文殊	龍像		1	"	常盤山文庫	藏
	89	文殊	龍像		3	16世紀後期	吉沢義正氏	藏
	90	達磨	水図		1	"	"	
	91	山機	図		1	16世紀中期	里見忠三郎氏	藏
	92	禅山	水図	長谷川左近筆	1双	16世紀後期	武田憲治郎氏	藏
	93	寒山	水図	楊富筆	1	16世紀中期	武田	藏
	94	寒山	水図		1	"	武田	藏

秩父宮妃殿下御来館 (5月7日)

水墨展御鑑賞中の妃殿下

(左へ) 御説明をする谷信一氏

杉本久留米市長

島津日赤社長

高松宮殿下御来館 (8月8日)

右は 石橋幹一郎氏

駐日ユーゴスラビア大使 コス博士夫妻来館
(10月24日)

駐日インド大使代理 ボチャダス氏来館
(4月30日)

日本水墨画 名作展

4月25日—5月24日

開催に先だって4月24日開会
式を挙行。

向って左より石橋正二郎氏夫妻
弘中西日本新聞社社長、右端は
谷信一氏。

同時に開催された、有馬
記念館開設記念石橋コレク
ション東洋美術品特別展観



会場の一部

右より雪舟筆

「黄初平図」(重文)

「慧可断臂図」(重文)

伝雪舟筆

「東福寺伽藍図」(重文)

観音図などを鑑賞する人々



記念講演会（4月24日）

水墨画について講演する

右、谷 信 一 氏

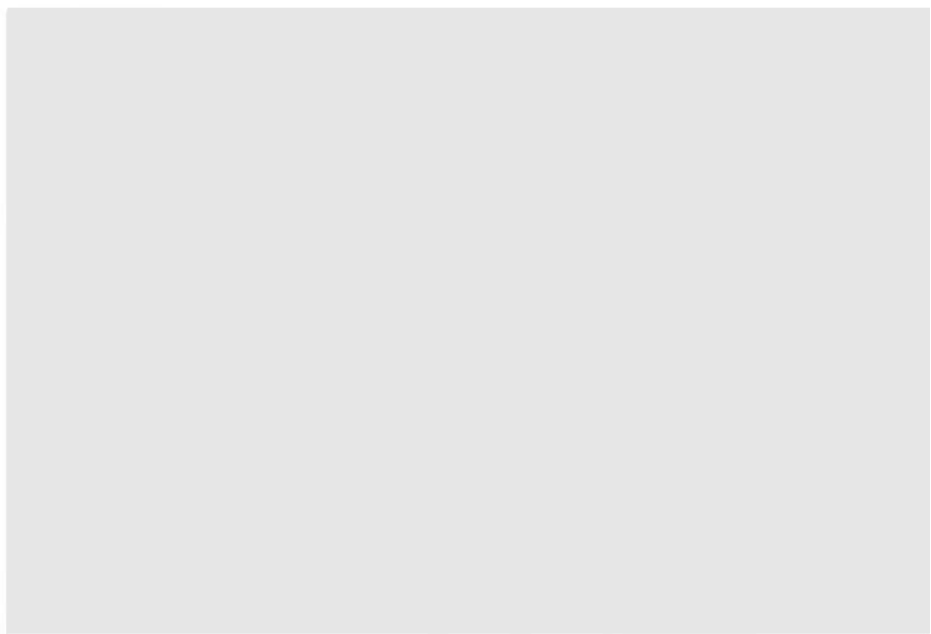
左、中 村 溪 男 氏

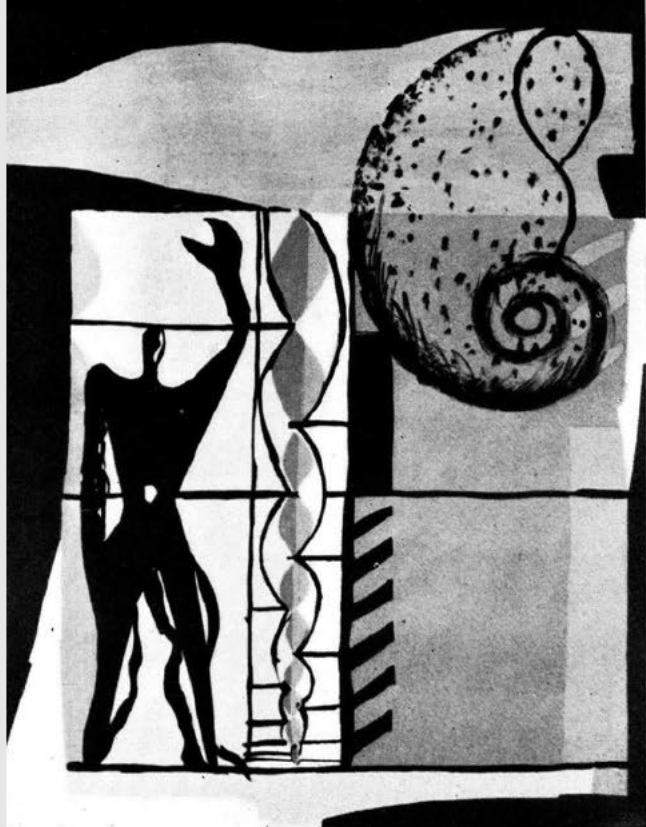


NHKテレビ中継（5月17日）

水墨画展の会場からの現場中継

説明は 岸 田 勉 氏。





ジャン・リュルサ「女」

ル・コルビュジェ「直角の詩」より

創作版画シリーズ	ジャン・リュルサ	(6月3日—7月9日)
〃	ル・コルビュジェ	(7月10日—8月9日)
〃	藤田 嗣 治	(8月10日—9月9日)

藤田 嗣 治 「テルスの広場」

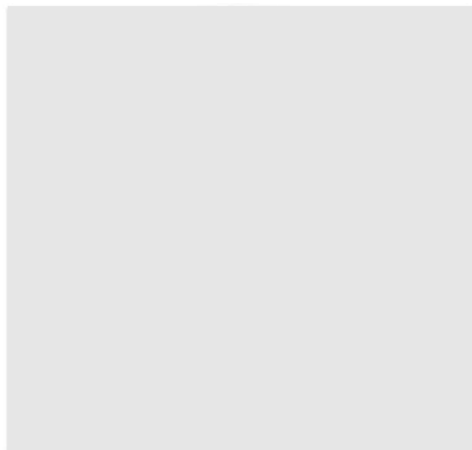
藤田 嗣 治 「オペラの夢」

ピカソ

(9月10日—10月9日)

ピカソ「アンティープのデッサン複製画」(一九四六年)

安倍能成氏来館 (7月21日)



河北倫明氏の講演 (10月10日)
「中国に日本現代美術展を開いて」





黒田 清輝「針仕事」 1890年（24才）

石井 柏亭「スペインの女」 1912年（30才）

近代名家青年時代作品展

10月10日－11月13日

若き日の自作の前で語る 坂本 繁二郎氏

坂本 繁二郎「国道筋」
1916年（35才）

岸田 劉生「切 通 し」 1915年 (24才)

村 山 槐 多「バラと少女」 1917年 (21才)

平賀亀祐・ヨーロッパ近作展

12月6日ー18日

「アペリチフの時間」1928年作

来館した平賀氏御一家

「窓から見たキャナル(ベニス)」1958年作

〔審査〕 左より谷口鉄雄氏、岸田勉氏、河北倫明氏

〔座談会〕 挨拶する沢井祥氏

〔金賞〕 「花」 沢井 祥

第 4 回
西日本洋画
新人秀作展

2 月 4 日 — 26 日

〔銀賞〕
〔別離〕
小川
末吉

青木 繁 特別展観

3 月 18 日 — 24 日

青木繁の命日を記念して開催された記念祭の当日（3月21日）故画伯の遺作を偲ぶ

福田蘭童氏（左）と

杉本久留米市長（右）

有馬記念館開設記念 石橋コレクション 東洋美術品 特別展観

(4月25日—5月24日)

久留米市篠山城跡に石橋正二郎氏が寄贈した有馬記念館が建てられたのを記念して、水墨画展と同時に開催されたもので、石橋コレクションの東洋美術品の一部を陳列した。

〔陶 器〕

1	漢	灰 釉 両 耳 壺	
2	唐	三 彩 壺	
3	宋	磁 州 窯	白地黒搔落牡丹唐文花生
4	南 宋	景 徳 鎮 窯	面 取 水 注
5	元	竜 泉 窯	飛 青 磁 花 生 重 文
6	明 嘉 靖	景 徳 鎮 窯	緑 地 赤 絵 瓢 形 花 生

〔絵 画〕

1	因 陀 羅 筆	丹 霞 焼 仏 図	国 宝
2	宗 達 〃	保 元 平 治 乱 図 扇 面	6 面
3	高 橋 草 坪 〃	天 保 九 如 図	重 美
4	竹 内 栖 鳳 〃	富 嶽 図	
5	〃 〃 〃	秋 景 富 嶽 図	
6	横 山 大 観 〃	糺 の 森 図	
7	〃 〃 〃	不 二 図	
8	西 村 五 雲 穂	旭 日 春 波 図	
9	平 福 百 穂	風 潮 蛟 鶴 図	
10	〃 〃 〃	清 溪 白 雲 図	
11	富 田 溪 仙	梢 白 鷺 図	
12	〃 〃 〃	昇 鯉 図	
13	橋 本 関 雪	函 峽 婦 帆 図	
14	〃 〃 〃	寒 郊 婦 牧 図	

〔書 〕

1	高 野 切		重 美
2	石 山 切	「み そ め す も」	〃
3	〃 〃	「に さ へ や」	〃
4	〃 〃	「も も し き の」	〃
5	豊 太 閣 筆	書 翰	〃
6	頼 山 陽 〃	蒙 古 来	
7	東 郷 平 八 郎 〃	忠 孝	双 幅
8	乃 木 希 典 〃	埋 れ 木	

近代名家 青年時代作品展

(10月10日—11月13日)

当館主催。 会場 1、2 室。

国立近代美術館始め、各地の所蔵家の御協力を得て開催され、近代日本洋画家の巨匠の青年時代の名品を網羅したもので、青年時代の活気が会場に溢れて、特に青少年に大きな刺激を与えた。

1	原	田	直次郎	1863—1899	童女図	10号	1885頃	22才
2	黒	田	清輝	1866—1924	針仕事	25"	1890	24"
3	"	"	"	"	ブレハの少女	25"	1891	25"
4	藤	島	武二	1867—1943	天平の面影	120"	1902	35"
5	岡	田	三郎助	1869—1939	自画像	5"	1894	25"
6	"	"	"	"	臥裸婦	30"	1900	31"
7	"	"	"	"	バラの少女	60"	1901	32"
8	和	田	英作	1874—1959	読書	20"	1902	28"
9	中	沢	弘光	1874—	おもいで下絵	20"	1909	35"
10	"	"	"	"	夏の日の浦	12"	1910	36"
11	山	本	森之助	1877—1928	曲	25"	1908	31"
12	森	田	恒友	1881—1933	フランス風景	6"	1912—14	31—33"
13	山	下	新太郎	1881—	ノラ・フェル	8"	1908	27"
14	"	"	"	"	ブルターニュの少女	8"	"	"
15	青	木	繁	1882—1911	自画像	25"	1903	21"
16	"	"	"	"	関威弥尼	0"	"	"
17	"	"	"	"	輪転	5"	"	"
18	"	"	"	"	丘に立つ人	水彩	1904	22"
19	"	"	"	"	海	0号	"	"
20	"	"	"	"	春	水彩	"	"
21	石	井	柏亭	1882—1958	スベインの女	"	1912	30"
22	坂	本	繁二郎	1882—	秋の朝日	5号	1899	18"
23	"	"	"	"	国道筋	25"	1916	35"
24	有	島	生馬	1882—	欄干の女	12"	1907	25"
25	"	"	"	"	画室の女画家	12"	1908	26"
26	辻	"	永	1884—	残暉	30"	1906	22"
27	萬	"	鉄五郎	1885—1928	裸体美人	100"	1912	27"
28	青	山	熊治	1886—1932	ロシヤ人の肖像	12"	1915	29"
29	藤	田	嗣治	1886—	巴里風景	10"	1918	32"
30	小	絲	源太郎	1887—	ひとこみ	25"	1919	32"
31	小	出	橋重	1887—1931	お梅の像	30"	1920	33"
32	中	村	椿	1888—1924	自画像	25"	1909	21"
33	安	井	曾太郎	1888—1955	自画像	4"	1906	18"
34	"	"	"	"	田舎の寺	10"	1909	21"
35	"	"	"	"	風景	8"	1911	23"
36	"	"	"	"	水浴群像	120"	1914	26"
37	梅	原	龍三郎	1888—	モンマルトルの女	15"	1909	21"
38	"	"	"	"	自画像	20"	1911	23"
39	"	"	"	"	カンス港	10"	1921	33"
40	"	"	"	"	ナポリよりソレントを望む	12"	1921	33"
41	岸	田	劉生	1891—1929	切通し	20"	1915	24"
42	"	"	"	"	大崎附近風景	10"	1915	24"
43	"	"	"	"	麗子坐像	水彩	1920	29"
44	国	吉	康雄	1893—1953	寝たる女	25"	1929	36"
45	見	島	善三郎	1893—	トレド風景	40"	1925	32"

46	中	川	一	政	1893—	板	橋	風	景	12号	1919	26才			
47	古	賀	春	江	1895—1933	海	水	浴	の	女	50〃	1923	28〃		
48		〃			〃	海			女	50〃	1923	28〃			
49		〃			〃	蝦		夷	菊	8〃	1926	32〃			
50	中	村	研	一	1895—	裸			婦	80〃	1928	32〃			
51	村	山	槐	多	1896—1919	バ	ラ	と	少	女	50〃	1917	21〃		
52		〃			〃	コ	ス	チ	ュー	ム	の	娘	25〃	1917	21〃
53	前	田	寛	治	1896—1930	棟	領	の	家	族	100〃	1928	32〃		
54	佐	伯	祐	三	1898—1928	靴	屋	の	店		20〃	1925	27〃		
55		〃			〃	ガ	ラ	ー	ジ	ュ	り	20〃	1927—8	29〃	
56		〃			〃	広	告	貼			20〃	1928	30〃		
57	関	根	正	二	1899—1919	子			供		12〃	1919	20〃		
58	三	岸	好	太	1902—1934	少	年	道	化		30〃	1927	25〃		
59		〃			〃	風			景		20〃	1928	26〃		
60	東	郷	青	児	1897—	パ	ラ	ソ	ル	の	女	15〃	1916	19〃	

平賀亀祐ヨーロッパ近作展

(12月6日—12月18日)

朝日新聞社、当館主催。 会場2室。

平賀亀祐氏は1889年、三重県に生まれ、アメリカを経て1925年渡仏以来現在まで在仏、1955年初めて帰国しブリヂストン美術館で個展を開いたのに続いて今回は二度目の個展であった。

1	塩	鮭	ユール・ローワール	25P	1958
2	サン・ゼルマン・ラ・ガチン		ベニス	15P	1957
3	マルパガ		パリス	15F	1958
4	メニルモンタンの古い家		シヤルトル	30F	〃
5	ブージュ橋		ブリタニユ	50F	〃
6	ロッシモリス		ベニス	10F	1959
7	サント・バルナバ		シヤルトル	10F	1958
8	ユール河畔の家		ブリタニユ	20F	1959
9	グイトレー近郊の道路		〃	10F	〃
10	レデヴェン		シヤルトル	10F	〃
11	サンタンドレ寺とユール河		ブリタニユ	40F	〃
12	グイトレー		ベニス	10F	〃
13	グラン・ド・カナル		ブリタニユ	15F	1958
14	ル・ア・ガ		〃	15F	1959
15	ド・エ・ラン港		パリス	15P	〃
16	メニルモンタンの古い家		ベニス	15F	1957
17	キヨシヤの町		ブリタニユ	15F	1958
18	グイトレーの古い家		オワーズ県	15F	1959
19	ラ・ブ・ネル村		〃	15F	1958
20	ベッサール		ベニス	15F	〃
21	窓から眺めたカナル		オワーズ県	15F	〃
22	ノー・ジャン・ル・ワ		ベニス	15F	〃
23	カル・デ・ラ・コレタ		ブリタニユ	15F	〃
24	カマレのドルメン		パリス	10P	1959
25	サン・ジャックの裏庭		〃	15F	1957
26	アペリチーフの時間		ベニス	40F	1928
27	キヨシヤ		ブリタニユ	15F	1958
28	サン・テ・ゴネック寺			15F	1959

29	バ	ッ	ク	ブ	リ	タ	ニ	ユ	10F	1959
30	モ	ン	サ	ン	ミ	ッ	セ	ル	15F	"
31	窓	か	ら	眺	め	た	風	景	20F	"
32	チャ	ペ	ル	・	サ	ン	・	ク	20F	"
33	ブル	ガ	ン	バ	ン				15F	1958
34	塩								25P	"
35	漁	港	カ	マ	レ	ー			15P	1959
36	ベ	ッ	セ	ー	ル				15P	1957
37	ヴ	イ	リ	ン	・	ヴ	ァ	ン	15F	1959
38	静								8P	1958
39	サ	ン	バ	ン	タ	ロ	ン		10F	"
40	ギ	ミ	リ	オ	の	寺	院	内	15F	1959
41	ギ	ミ	リ	オ	の	カ	ル	ヴェ	15F	"
42	ゲ	ェ	リ	ッ	ト				10P	"
43	サ	ン	ボ	ル	ド	レ	オ	ン	15P	"
44	ト	ネ	レ	リ	ー	街			40F	1960
45	漁	港	ロ	ケ	ノ	レ			15F	1959
46	レ	ナ	ッ	ク	村	入	口		15F	"

第 4 回 西日本洋画新人秀作展

(2月4日—2月26日)

当館主催 会場 1, 2 室

1960年度西日本各地(九州、山口県)で開催された。各公募展の上位入賞作品より、44作家49作品を選抜、陳列したもので、当館運営委員で審査の結果、沢井祥「花」に金賞、小川末古「別離」に銀賞、平田邦之「親子」、白野文敏「殺殷」に銅賞がそれぞれ贈られた。

〔西部女性美術展〕

(金賞)	1	花	知	事	賞	60	沢	井	祥	☆☆
	2	大 地 を 越 え て	県	美 術 協 会	賞	150	長		頼	
	3	未	朝	日	金	120	中	西	和	☆
	4	鳥 寄	岩	田	屋	1	森	田	律	
	5	森 で の こ と	朝	日	銀	1	山	田	文	○☆☆

〔長崎県美術展〕

6	イ	シ	ス	の	婚	姻	長	崎	市	教	育	委	員	会	賞	100	坂	田	昭	美		
7					壁		県	美	術	協	会	賞				50	武	内		勲		
8	立						知		事		賞					80	堀	越	修	三		
9	壺			の	世	界	県	教	育	委	員	会	賞			30		山		勝	信	
10	ガードと	ガスタンク					佐	世	保	市	長	賞				40	脇	山	国	利	水彩	

〔福岡県美術展〕

	11	飛	久	留	米	市	長	賞	50	下	川	研					
	12	作	県	美	術	協	会	賞	50	田	島	定	臣				
	13	塗りこめられた糸まき女と鳥	朝	日	新	聞	社	賞	50	友	添	泰	典				★
	14	雪 の 日 ・ 聖 堂	門	司	市	長	賞	60・50		藤	沢	瑳	妥	雄			
	15	窓から入って来た鳥連作	新	人	賞			30・40		堀	田	修	司				

〔南日本美術展〕

16	昇		天像	県教育委員会賞	100	上	原	正	作	
17	K	子	地	県町村長会賞	60	大	井	良	知	
18	白	い		奨励賞	80	前	畑	省	三	
19	庵		層	知事賞	100	三	好	勝	勇	
20		生	墟	南日本新聞社賞	100	渡	辺		海	★

〔宮崎県美術展〕

21	陽		流	奨励賞	100	伊	東		旭	
22	緑	の	調	県議会賞	40	金	丸	通	夫	
23	風		神	県教育委員会賞	100	杉	山	祐	昭	水彩
24	流		れ	日向美術賞	50	弥	勒		徳	

〔山口県美術展〕

25	悩		む	文部大臣奨励賞	50	網	千	啓	四	郎
26	読		書	県教育委員会賞	20	江	本	一	彦	
27	竹		林	"	20	藤	井	章	敦	
28	枯	れ	花	"	半切	藤	川		造	○★水彩
29	船	た	体	"	30	森	田		哲	★

〔大分県美術展〕

30	あ	る	風	県美術協会賞	中判全紙	伊	藤	照	正	木版
31	裂		F	大分商工会議所賞	10	河	村	信	雄	エッチング
32		樹		大分合同新聞社賞	80	佐	藤	紘	一	
(銅賞) 33	穀		殷	県美術協会賞	30	白	野	文	敏	★
34	森	に	よ	文部大臣賞	50	高	藤	博	康	

〔熊日総合美術展〕

35	滞		船	熊日社長賞	80	赤	星	宣	利	
36	柵	の	牛	熊日奨励賞1	100	雨	森	三	郎	
37	交	中	錯	熊日市長賞	100	岡	本	光	厚	
38	裂	け	帆	熊本市長賞	60	芹	川	邦	行	☆
(銅賞) 39	親	た	子	熊日奨励賞2	40	平	田		之	

〔佐賀県美術展〕

40	作	品	西日本新聞社賞	60	井	上	久	美	子	★
(銀賞) 41	別	離(死者)飛	知本新聞社賞	60・100	小	川	末	吉		
42	と	翔	県教育委員会賞	50	柿	原		聡	☆★	
43	家族の人たち・母と	子	朝日新聞社賞	60・50	金	原		剛		
44	壁と人間・仮死	死	県文化会賞	50・50	真	木	昭	男	★	

○ 第1回展出品者
 ☆ 第2回展出品者
 ★ 第3回展出品者

特別陳列 青 木 繁

(3月18日—3月26日)

当館主催。 会場3室。

久留米の生んだ明治洋画壇の鬼才、青木繁没後50年の命日3月25日に因んで、毎年3月下旬久留米市の東にあるけしけし山で催される記念祭に協賛して故人を偲ぶ陳列を行なった。

1	妙 義 山 行	鉛 筆	1902年作	16	風	景	1904年作
2	妙 義 山 行	鉛筆淡彩	"	17	水	浴	1904—5年作
3	妙義山行(中小坂村)	鉛 筆	"	18	海	景	"
4	妙義山行(麓に望みたる妙義)	鉛 筆	"	19	光 明 皇 后		1905年作
5	湯 祭	鉛筆淡彩	"	20	雪	景	1906年作
6	風 景	鉛筆淡彩	"	21	わだつみのいろこの宮		1907年作
7	秋 の 夜 像		"	22	月 下 滞 船 図		1908年作
8	自 画		1903年作	23	春		"
9	闊 威 弥 尼		"	24	夏		"
10	輪 転		"	25	自 画	像 鉛 筆	
11	海		1904年作	26	人 物	鉛筆淡彩	
12	丘 に 立 つ 三 人		"	27	座 婦 後 姿	鉛筆淡彩	
13	農 家 立		"	28	門 壁 図	鉛筆淡彩	
14	木 立		"	29	風 景		
15	春		"				

主 な 来 館 者

1960年度各種活動について

毎週土、日曜日に定期的に作品解説を行なっている。

美術講演会、座談会、美術映画の会を開いて、美術への関心を高めることに努力している。又、要望に応じて、スライドや映画フィルム等の貸出をしている。尚、テレビの普及に伴い、展覧会毎にニュースに放送され、特別展の時は、解説付で中継され、広く報道されている。

その他、階下のオープンギャラリーは常に活用され、使用数は年々増している。

講演会・座談会・その他

4月23日	「中世の水墨画を語る」	谷中岸	信一氏 村田 勉氏(司会)	西日本新聞社 〃 〃
4月24日	「水墨画について」	谷中岸	信一氏 村田 勉氏	当館 〃
4月24日	「水墨画の再認識」 映画「前田青邨」「川合玉堂」	谷中岸	信一氏 村田 勉氏(司会)	久留米市公会堂 〃 〃
5月6日	「現代美術の動向をめぐって」	アメリカ・カーネギーインスティテュート 美術部長 ウォシユバーン氏		当館
5月8日	「水墨画の意義」 「水墨画と現代画」 映画「室町時代の美術」「前田青邨」	谷河北	信一氏 倫明氏	西日本新聞社講堂 〃 〃
5月17日	水墨展をN・H・K・TV「テレビ訪問」に中継	岸田	勉氏(解説)	当館
10月10日	「中国に日本現代美術展を開いて」	河北	倫明氏	久留米市教育クラブ
2月26日	第4回 西日本洋画新人秀作展出品者座談会	(講師) 谷口鉄雄、岸田勉、石本秀雄氏		当館

上映々画

5月21日	「高村光太郎」	「美術家訪問8集」
〃	「坂本繁二郎」	「前田青邨」
5月22日	「美術家訪問6集」	「前田青邨」
9月18日	「美術家訪問3、4集」	「坂本繁二郎」

階下ギャラリー展覧会

4月13日—4月17日	精神障害者絵画展		聖ルチア病院
4月24日—5月1日	げおのんぬーみる展	洋画	グループげおのんぬーみる
5月2日—5月7日	江南美術展	洋画	江南画塾
5月8日—5月15日	第11回西部水彩展	水彩画	西部水彩画協会
5月21日—5月24日	けしけしまつり児童画展	小中学生スケッチ作品	文化センター
5月28日—5月29日	久留米大学商学部文化祭展示会		
6月4日—6月6日	水天宮児童文化会童画作品展	小中学生絵画	水天宮児童文化会

6月 8日— 6月12日	グ ル ー プ 核 洋 画 展	洋	画	グ ル ー プ 核
6月16日— 6月20日	久留米大学合同写真展			久留米大学医学部学生会写真部 “ 商学部 ”
6月21日— 6月26日	第3回ユネスコ国際交流学校美術展			福岡ユネスコ協会
7月12日— 7月18日	西日本スケッチ展			西日本新聞社
7月20日— 7月22日	遍照院史蹟周辺学童スケッチ展			久留米観光協会
8月17日— 8月21日	グ ル ー プ 樹 展	絵	画	グ ル ー プ 樹
8月21日— 8月25日	近 藤 栄 子 個 展	油	絵	近 藤 栄 子
9月 4日— 9月 7日	青 稲 会 展	油	絵	青 稲 会
9月11日— 9月18日	第4回 筑後地区高校美術展			筑後地区高校美術展
9月29日—10月 3日	第10回筑後川公園学童スケッチ展			久留米市観光協会
10月 8日—10月 9日	文化書道学会書道展			
10月23日—10月30日	げおのんぬーみる展	絵	画	グループげおのんぬーみる
11月 3日—11月 6日	第10回 二科西人社展	絵	画	二科西人社
11月 8日—11月13日	第9回久留米市総合美術展洋画の部	洋	画	久留米市教育委員会 久留米連合文化会
11月16日—11月21日	市内小学校彫塑展	小学生の粘土細工、楽焼など		
12月 3日—12月 5日	久留米市中学校総合美術展	図画外 400点		久留米市中学校教 育研究会図工部
2月11日— 2月12日	第5回 水天宮児童文化会新年揮 毫会作品展示会	小中学生書道作品		水天宮児童文化会
3月18日— 3月26日	第8回 けしけし祭児童絵画展	小・中学生絵画		久留米市・連合文化会 文化センター

レコード・コンサート

I.C.C. レコード・コンサートは毎月1回第3土曜日に美術館中央ホールで開催している。解説は毎回、田中孝氏、1960年度は前年度に引き続き「国々の音楽」「季節の音楽」後半には「モーツァルト」などの作品を集め、スライド、照明などを使用した。開始以来50回もの回数を重ねたコンサートも4月バルトーク作「青ひげ公の城」をもって終了した。終了に当たり田中孝氏はじめ、50回まで企画担当された諸氏に感謝の意を捧げる。

ISHIBASHI ART GALLERY

NONAKAMACHI, KURUME, FUKUOKA, JAPAN



久留米市 野中町 石橋文化センター

石 橋 美 術 館